キャリア通信より　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**令和６年３月２２日**

新しい時代を生きるあなたに　「学問のすすめ」

あなたは自分が何者であるかを知っていますか？

「自分のことぐらい自分でわかってる」と思う人がいるかもしれません。けれども、**自分の知っている自分は多分自分の中のほんの一部**にすぎません。置かれた場所や状況に応じて人は様々な反応をします。その反応が、これが自分だと思っている自分を超えることは往々にしてあるものです。見たくなかった自分の感情に翻弄されることも、できないと思っていたことができてしまった自分に出会うこともあるでしょう。

青春の時を**「自分探しの旅」**と表現することがあります。「探す」というと、どこか遠くの世界に今の自分とは違う素敵な（本当の）自分がいて、あれやこれやしているといつかそんな自分に出会うことができる…。そんなイメージを持ってしまいがちですが、今ここにいる自分をないがしろにしては、「素敵な」自分に出会うことはできません。ましてや何もしないで待っていたら、誰かがどこからか「素敵な」自分を連れてきてくれる。などということは、おとぎ話の世界でも起こりえないことです。今、ここにある自分に起こっていることに自分が向き合って、自分は何をどう考えて行動していくのかを見究めていくこと、その積み重ねこそが真に自分を知ることにつながるのです。

「自分のことは自分が一番よくわかっている。」そんな気持ちに胡坐をかいて何も知ろうとしなければ、自分という存在は、自分の知っている狭い狭い範囲の中に押し込められて、広い世界に羽ばたいていくことはできません。檻に閉じ込められているのと同じです。

どうしたら自分を羽ばたかせることができるでしょう？

世界は広いということ、自分の知っていること（自分自身についても）がすべてではないことを自覚することです。そうして知らないことを知って、世界を広げていくことです。私たちの世界は空間的な広がりだけでなく時間的な広がりの中にも存在しています。さらに言えば、時間にも空間にも支配されない思考（思索）の世界の中にも私たちは存在しています。そういった世界で起こることを**「ちゃんと」経験し「ちゃんと」記憶していくこと**。そして、その経験や記憶を基に**自分を変えていくこ**

と。そういう**チャレンジを続けていくこと**が自分に羽ばたく力をつけるのです。世界が広がれば自ずと羽ばたく世界も広がります。そして、その世界の主人公はもちろん自分自身です。自分の世界は自分で作っていくのです。

今、社会はSociety5.0という、人類の記憶にない新しい時代に入っています。インターネットで検索すれば何でも出てくるし、AIに頼めば、正解がもらえる時代にもなっています。

そのような時代にあって私たちが学ぶのはなぜでしょう。

学ぶことの意味はこの世に隠れている真理を見つけること。気づくことにあります。それは既に誰かが見つけていることかもしれません。それでもそれは自分自身で、納得しながら見つけていかなければならないものです。そこには、生きることの豊かさや驚きに満ちた感動が隠されているからです。北極星のようにゆるぎなく存在する真理につながることは、私たちが生きているこの世界の不思議と命の尊さを学ぶと同時に真に大切な**物事の根幹を知る**ことでもあるのです。そして、その真理は私たちに**自分の立ち位置**を教えてくれます。

私たちは、近年たくさんの人々の命や暮らしが失われた事実を見聞きしてきました。地震や津波、台風は容赦なく命やそれまで営んできた生活を奪っていきました。人と人との争いもまた大きな悲しみを与えます。やり場のない思いを抱え途方に暮れることもある。自分ではどうすることもできない動きに翻弄され、身動きができなくなるときもある。そんなとき、それを乗り越える真理があれば、それは人々に立ち上がる力を与えることになるはずです。

苦しい時、自分の立ち位置が分からなくなったとき、それを**乗り越えさせてくれる**のはそれまでに**学んだことと考えたこと**です。その経験こそが自分も人も支える力になる。だから、人は学び続けなければならないのです。

年度の終わりに、この一年間の皆さんの学びはそういう力を生み出す学びになっていたか。ぜひ自分自身に問うてみてください。